令和３年度　入学生用　〔　公　民　科　〕シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
公民	時事問題	2	選択科目	3年	
使用教科書	未定			担当者	

学習目標	社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習方法	現代社会の抱える課題について、新聞やインターネットを活用して調べ、他の人と知恵を出し合い、課題解決に向けた方策を考える。 グループでの協同学習や小論文の作成を行う。
学習評価	以上の観点をふまえ、 ・学習への参加姿勢や小論文について、自己評価、他者からの評価、教員からの評価を総合的に見ます。
担当者から	

育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容
1	基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。
2	問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。
3	情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。
4	主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。
5	協働力	他者を尊重し、協働することができる。
6	自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。
7	実践力	自ら考えて行動し実践することができる。
8	自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。

月	大単元	単元（題材）	学習内容	重点評価事項(資質・能力) 1	2	3	4	5	6	7	8	単元（題材）の評価基準	評価方法
4	日本の課題	社会保障の課題	少子高齢化によって起こる課題をグループで考え、列挙する。	○	○		○					少子高齢化が様々な課題に繋がることに気づけたか。 社会の構成員として、いかに参画するか主体的に考えられたか。 他者の考えも受け入れて、自分考えを述べることができたか。	グループ活動への参加姿勢 学習への取り組み 小論文
5			出た課題に対する対策をグループで考える。	○	○		○						
5			個々に取り組んだテーマに対する小論文を作成する。	○	○		○						
6			作成した小論文をグループで読み合い、評価し合う。	○	○		○						
6		財政の課題	国家財政の現状を学んだ上で、少子高齢化も見据え、グループで課題を列挙する。	○	○		○					国家財政の課題を理解できたか。 税のあり方などについて主体的に考えられたか。	
7			財政課題に対する対策をグループで考える。	○	○		○						
7			個々に取り組んだテーマに対する小論文を作成する。	○	○		○						
8			作成した小論文をグループで読み合い、評価し合う。	○	○		○						
8		安全保障の課題	尖閣諸島で起きている領有権問題について、グループで調べ、問題点を考える。	○	○		○					領有権問題を身近なものとして捉えられたか。 戦争をせずに解決する道を考えられたか。	
9			この問題の解決に向けて、どのように国民や政治は取り組むべきかグループで考える。	○	○		○						
9			個々にこの問題についての小論文を作成する。	○	○		○						
10			作成した小論文をグループで読み合い、評価し合う。	○	○		○						
10	世界の課題	SDGsとは何か	SDGsで掲げられた17の目標について、グループで1つの目標を選択し、「なぜそれが目標とされるのか」現状を調べ、取り組むべき「道」を考える。	○	○		○					世界が取り組むべき課題から、世界に目を向けることができたか。 世界の問題を未来の日本の課題として捉えられたか。 課題への取り組みを主体的に考えられたか。	
11			グループごとにプレゼンテーション資料を作成し、発表する。	○	○		○						
11			グループごとにプレゼンテーション資料を作成し、発表する。	○	○		○						
12		世界平和への道	なぜ戦争はなくならないのか、グループごとに現在起きている戦争や内戦を取り上げ調べる。	○	○		○					戦争の起こる複雑な背景に気づけたか。 政治への関わり方を主体的に意識できるようになったか。	
1			日本政府や国連がすべきことは何かを考える。	○	○		○						
1			自分の考えを小論文にまとめる。	○	○		○						